

シ
シ
シ



や、やだう

ぬる

ぐ

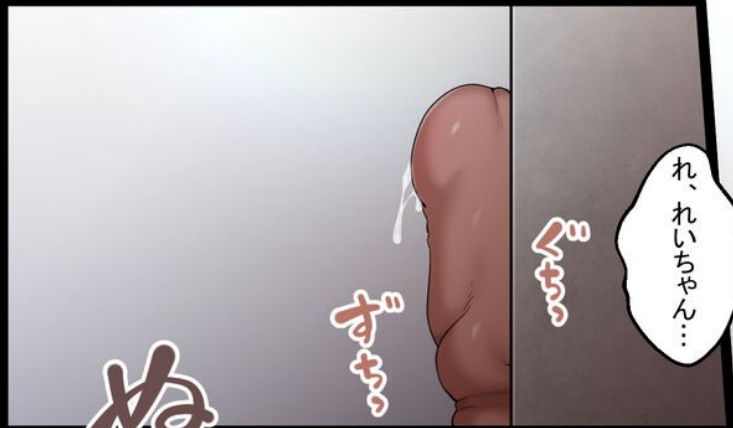
ぐ

オンの行動の
るのが、人間の
行動である。



じも

マ
マ
マ
リ
オ
ン



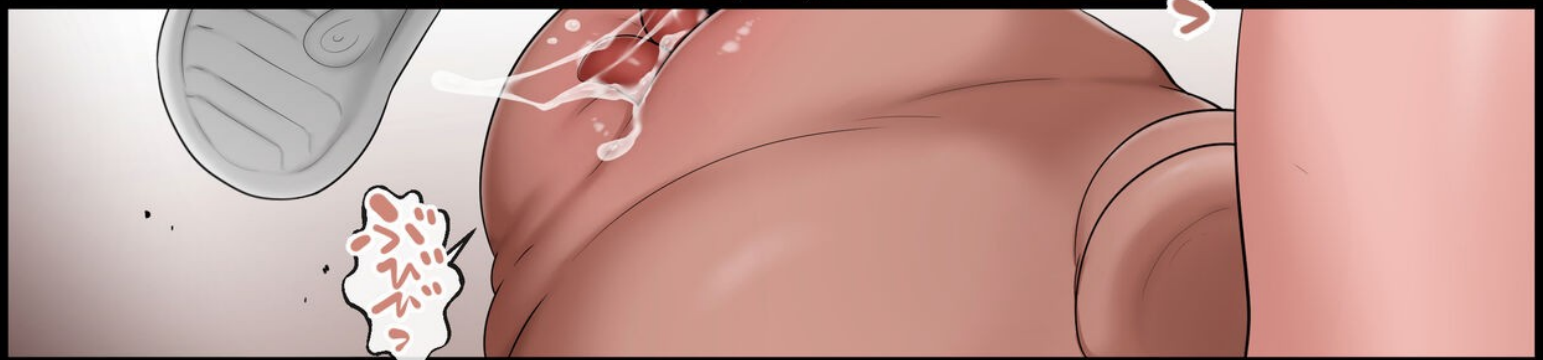


!?
ッ
...

ぐっはあ

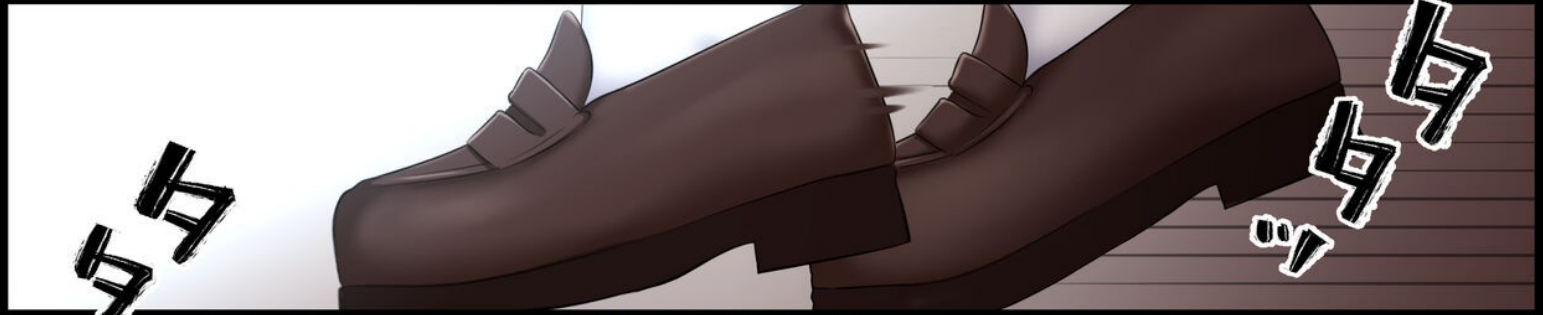
ぐっはあ

ぐっはあ



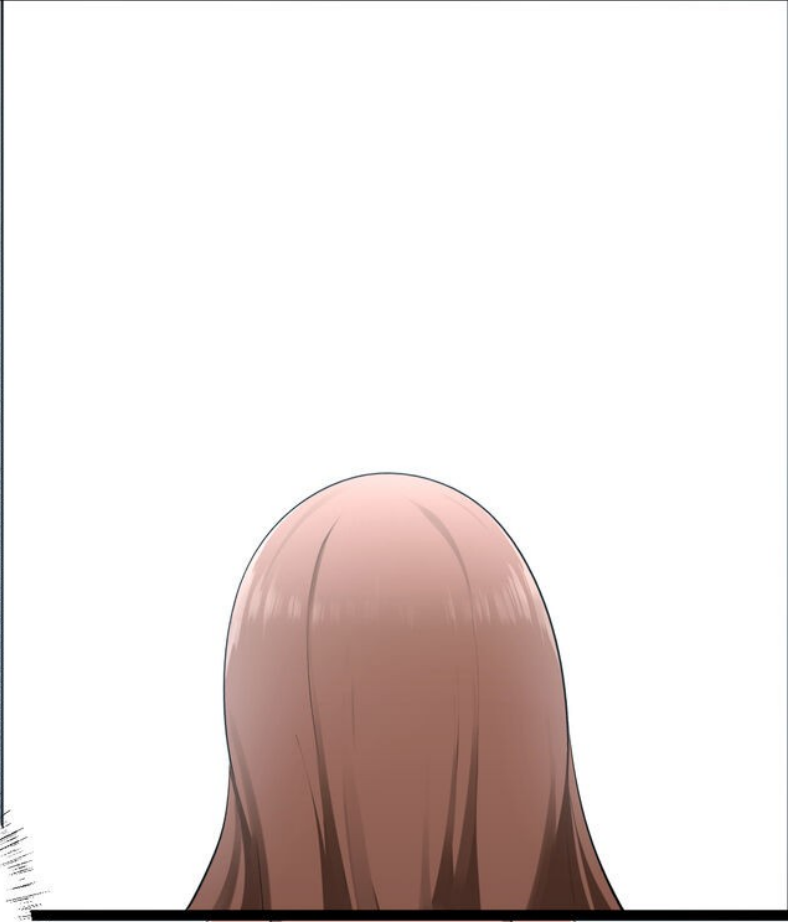
ぐっはあ





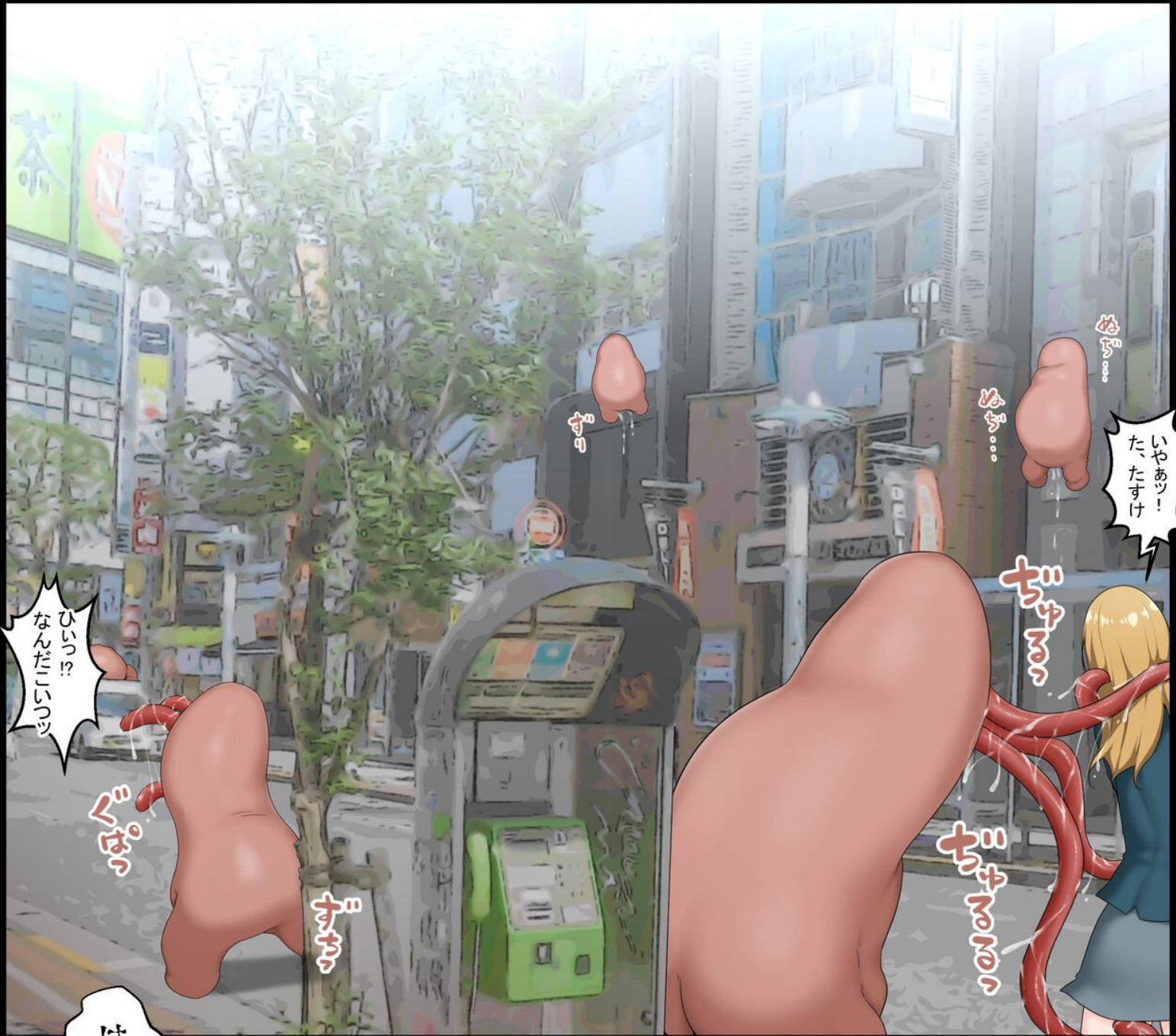
待ってて
れいちゃん！

絶対助けを呼んで
戻ってくるからっ



がんば、って...

それまで



ひいつ!!
なんだこいつ

ぐぼっ

ずず

ずず

ぬぢ...

ぬぢ...

いやあッ!
たまたすけ

ぢゅん

ぢゅん

はッ...



な...

ひっ
ひっ
!?

ミン・マラリオン

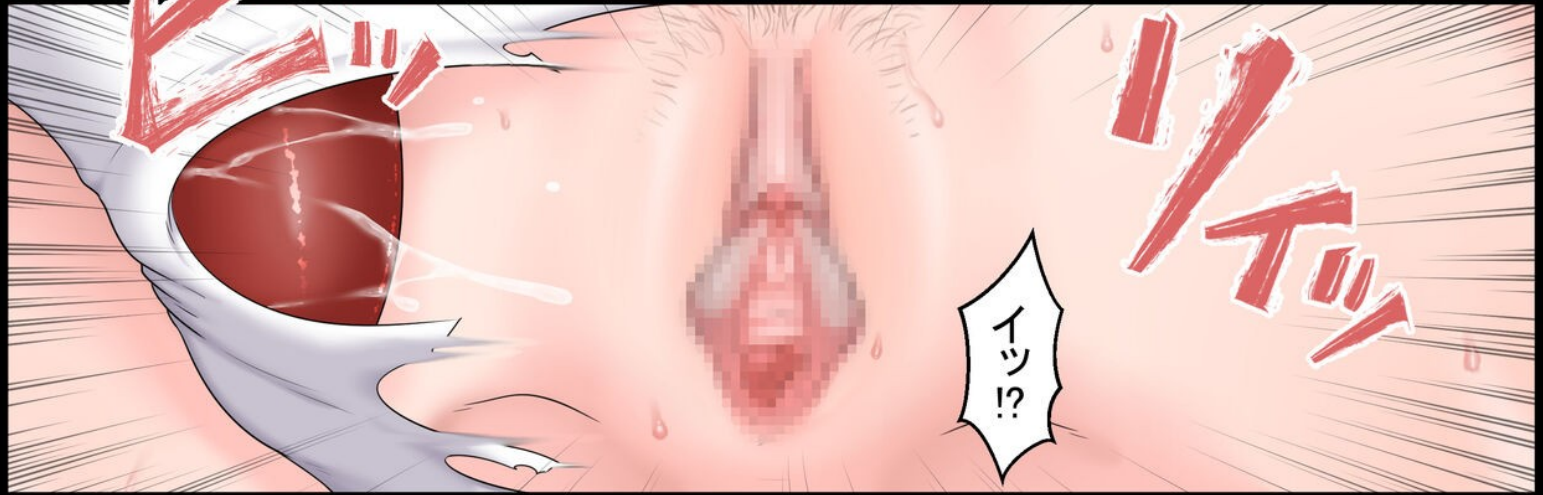
日本の市街地に突如として
出現した未知の生物群。
以下マラリオンと呼称する。



いざっ
はなっ
うぐっ



これは、今や世界的な脅威に
なったマラリオンについて
私が私的に調べた事件や
証言、実験等を元に書いた
レポートである。





やめッ

や、やだっ

ぬちっ

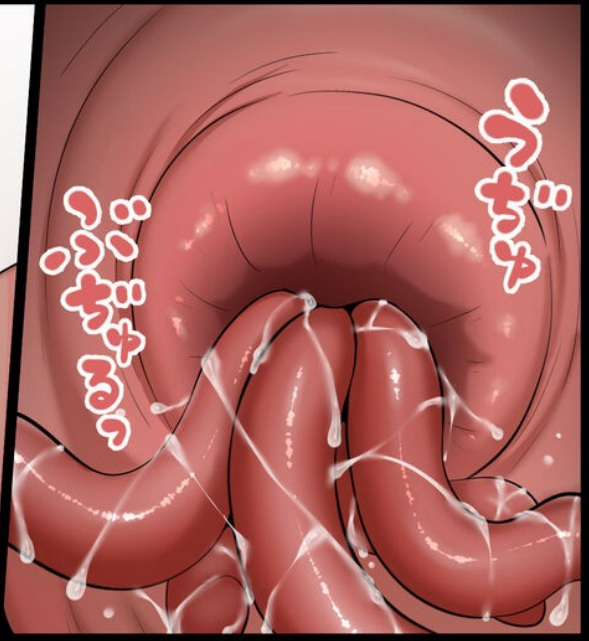
ぐぢぢ

まず、マラリオンの行動の大半を占めるのが、人間のメスへの生殖行動である。

ぐぢぢ

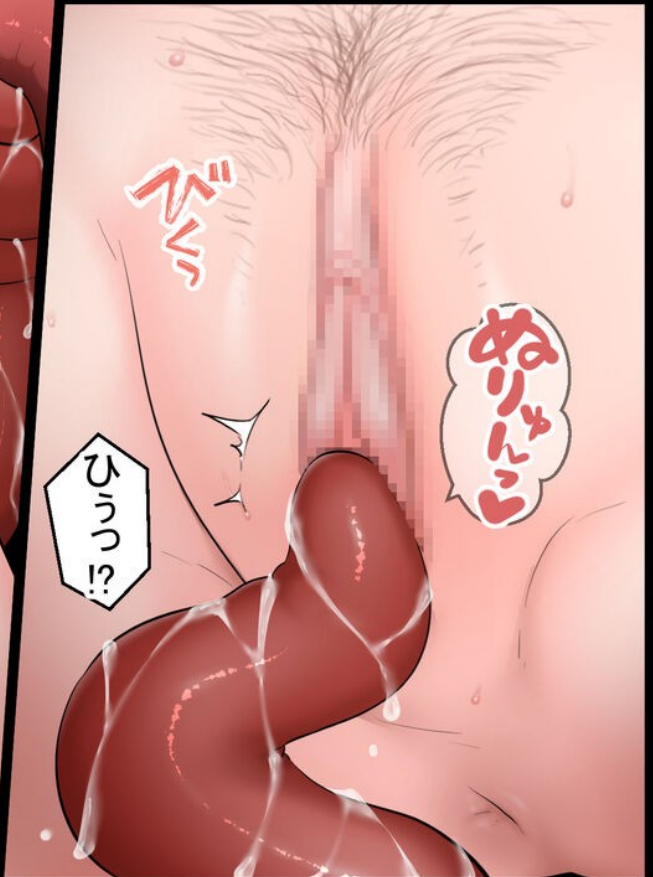
くちゅん

ズン



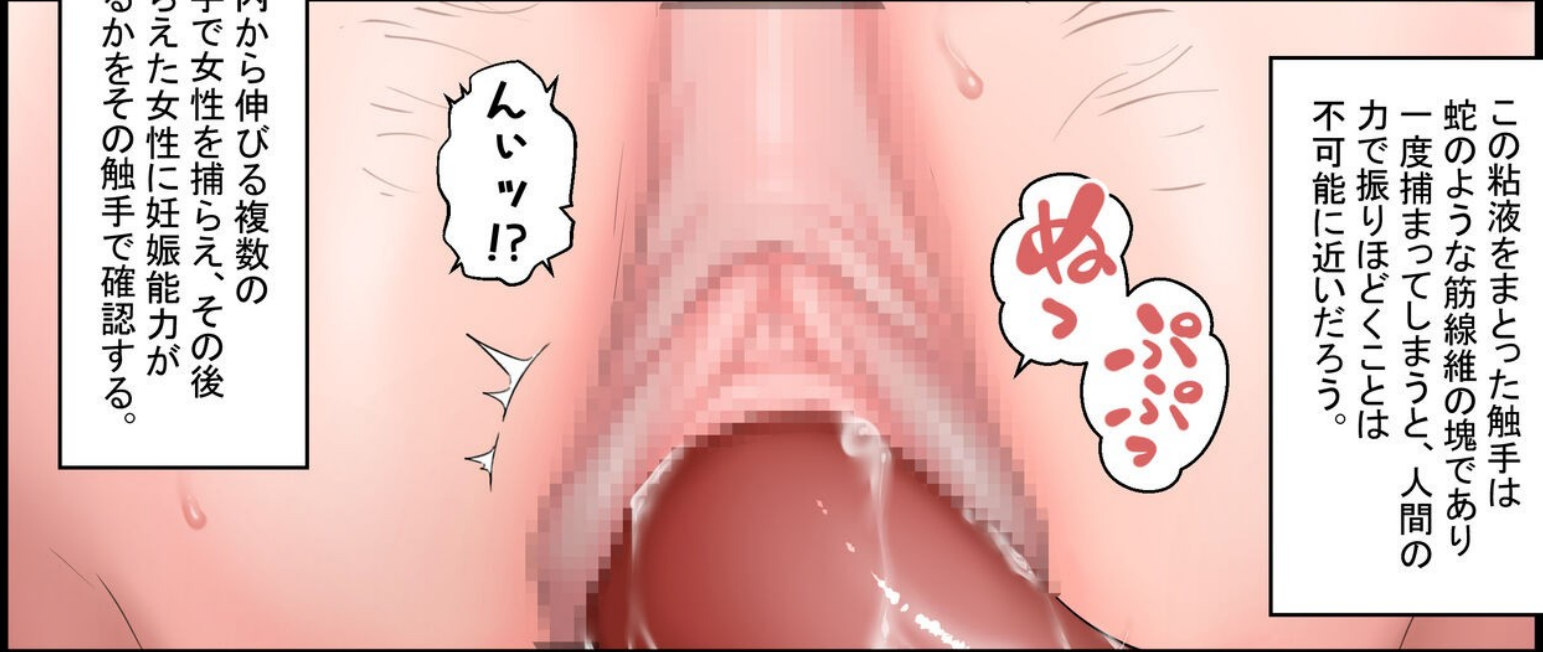
ちゅんちゅん

ちゅんちゅん



ひゅっ!?

ぬりゅん



んいッ!?

ぬちゅん

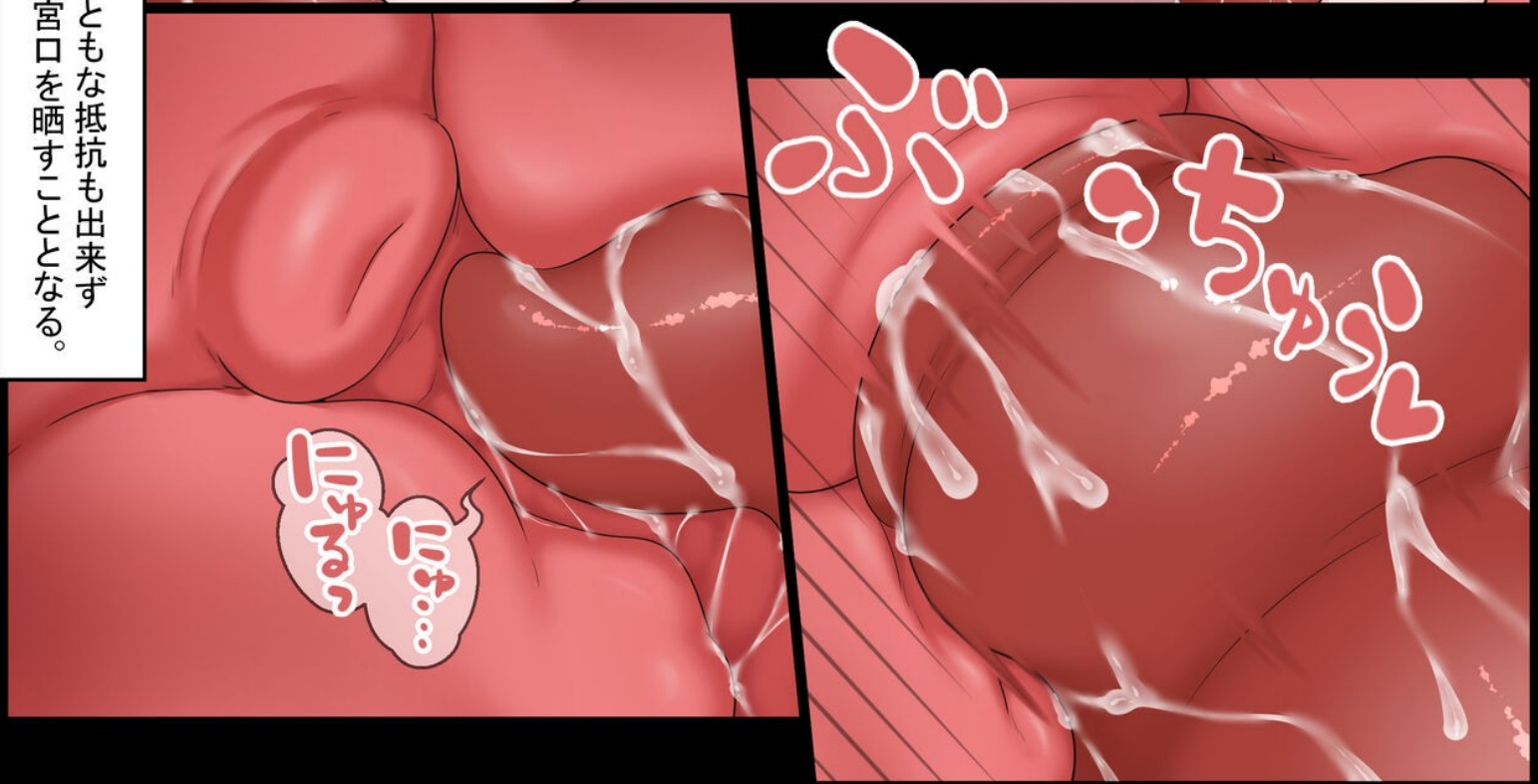
体内から伸びる複数の触手で女性を捕らえ、その後捕らえた女性に妊娠能力があるかをその触手で確認する。

この粘液をまとった触手は蛇のような筋繊維の塊であり一度捕まってしまうと、人間の力で振りほどくことは不可能に近いだろう。

触手は、媚薬成分のある
粘液を分泌しながら男性器の
様に膣内を進んでいく。

即効性かつ強力な媚毒は
容易に膣壁をほぐし

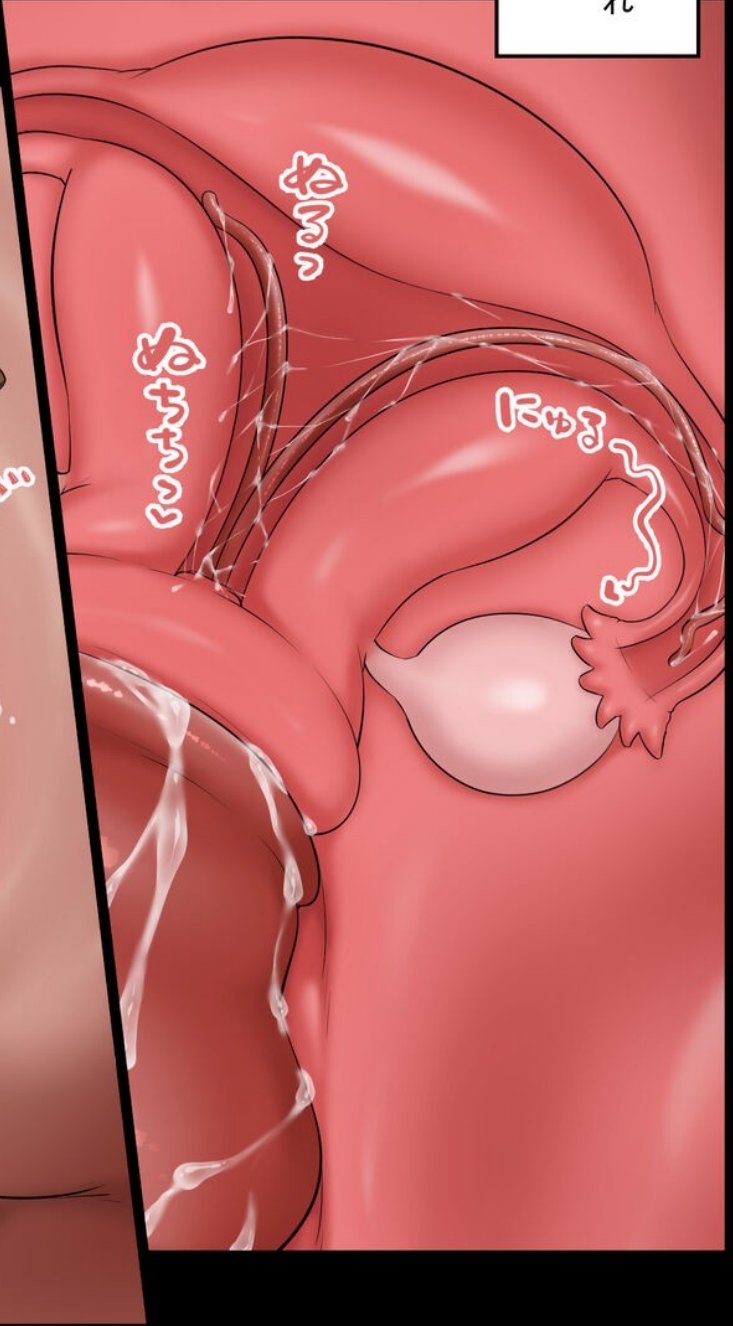
まともな抵抗も出来ず
子宮口を晒すこととなる。



そこからは子宮口を無理矢理こじ開けられより細い触手を侵入させていく。



子宮内膜、卵管に媚毒を擦り付け、舐める様に犯していき



ついには卵巣に到達する。

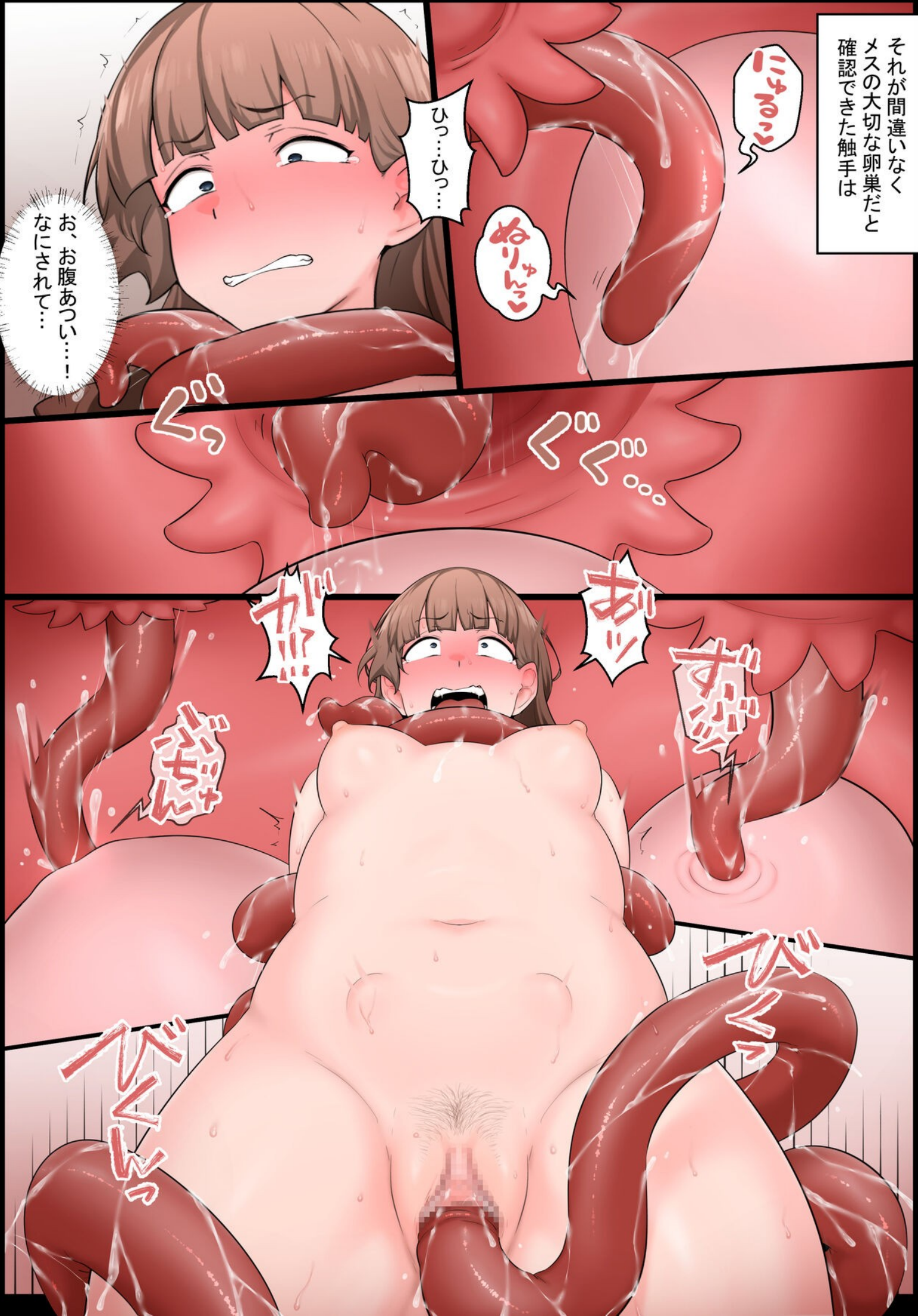
それが間違いなく
メスの大切な卵巣だと
確認できた触手は

「ハッハッ」

ぬりゃん

ん...ん...

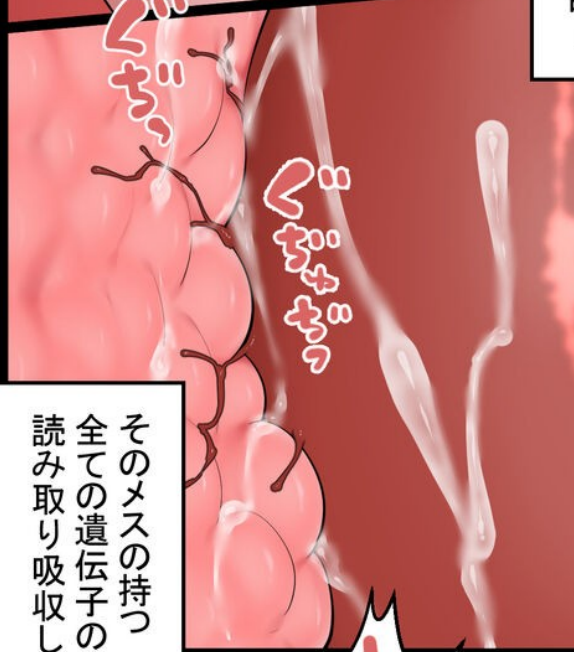
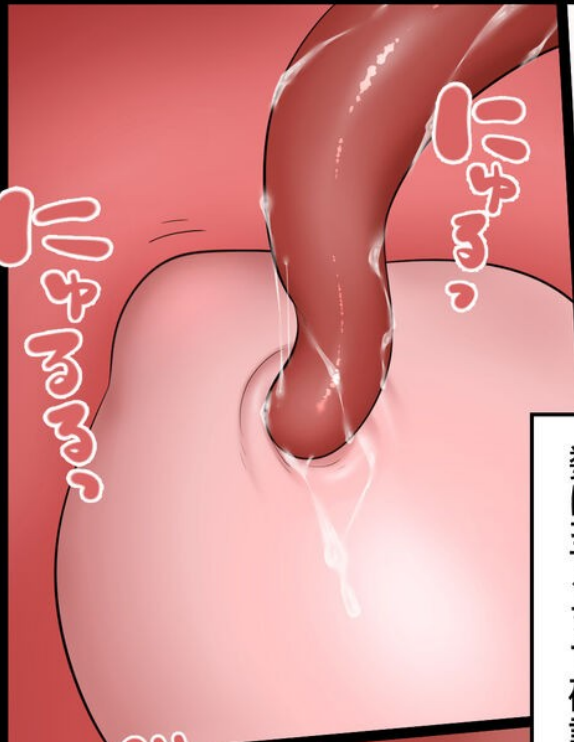
お、お腹あつい...!
なにされて...



卵巣内に触手を突き刺し

やばいこれっ
やばだッ
いやあッ

まさぐるように
卵子の質、状態
数に至るまで確認し



そのメスの持つ
全ての遺伝子の情報を
読み取り吸収していく。

そして今捕らえている
人間のメスが、優秀な
遺伝子を持つ母体だと
判断すると



まじっか!!?

ズルルルル

れいちゃん!?!
まっ、れいちゃ

むっ
もっ
もっ
もっ
もっ
もっ

はあ
はあ
はあ

ちゅぽん

ぐんお!!?

だが、こんなものは
マラリオンのおぞましさを
語るうえでの序章でしかない。

むっ
もっ
もっ





あ、れ…
私何して…

うわ…

なんか…
すごくきもちい…



い
ん
も
う
!?

ぐわ

ぐわ

な、なにこれっ!?

わたし、今
どうなってっ!?

ん
ん!!

ぐ
ぐぐぐぐ

つがいとなるメスを捕らえたマラリオンはそのメスを生暖かい体内に収納し、一時的に動きを止める。

か、体動かない!
なんでっ

ん
ま
ら
り
ん
ん

ん
ん

ん
ん

び
ち
や
ん
ん

現在に至るまで、軍人を始めプロの格闘家等の女性もマラリオンの被害を受けたがこの状態から抜け出せた事例はまだない。

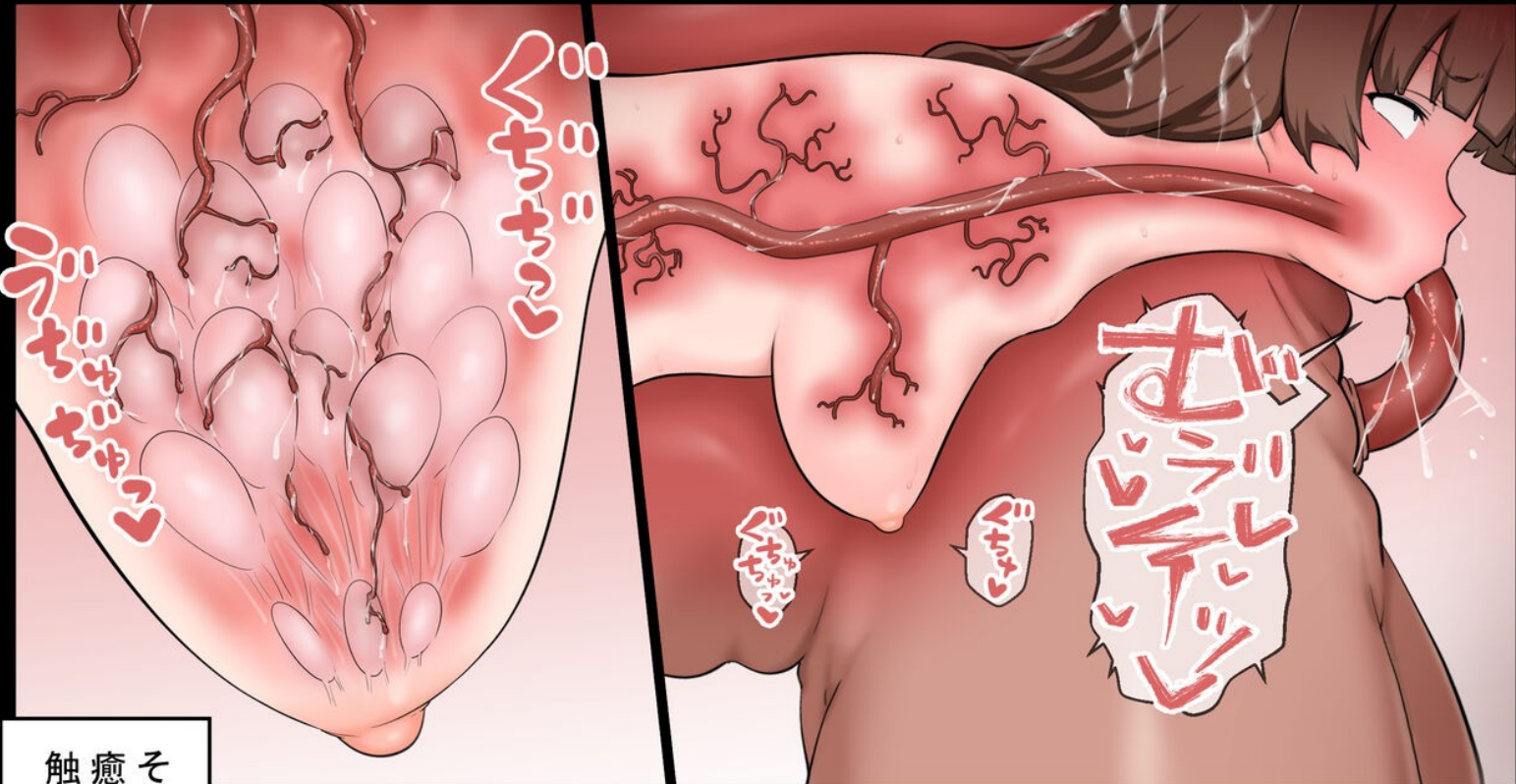
そして、完全に
動きが止まって
数分後



体内の触手を
神経や筋肉組織に侵食
癒着させていく。

この時痛みはなく、微細な触手
からも媚毒が出ているため
被害者女性の全身、文字通り
神経から脊椎、ありとあらゆる
部位を性感帯に変質させる。





そして、ある程度全身に癒着が進行した後、次第に触手は乳房へと集中していく。

マラリオンの睾丸に改造するためだ。

組織を改造され急速に肥大化していく乳房は、大切な赤子に乳を与える神聖な器官からマラリオンの精液を作るためのだけの下品で最低のモノへと変質させられていくのだ。





ゴホッゴホッ

ゴホッゴホッ



ゴホッゴホッ

ゴホッゴホッ



ゴホッ

ゴホッ

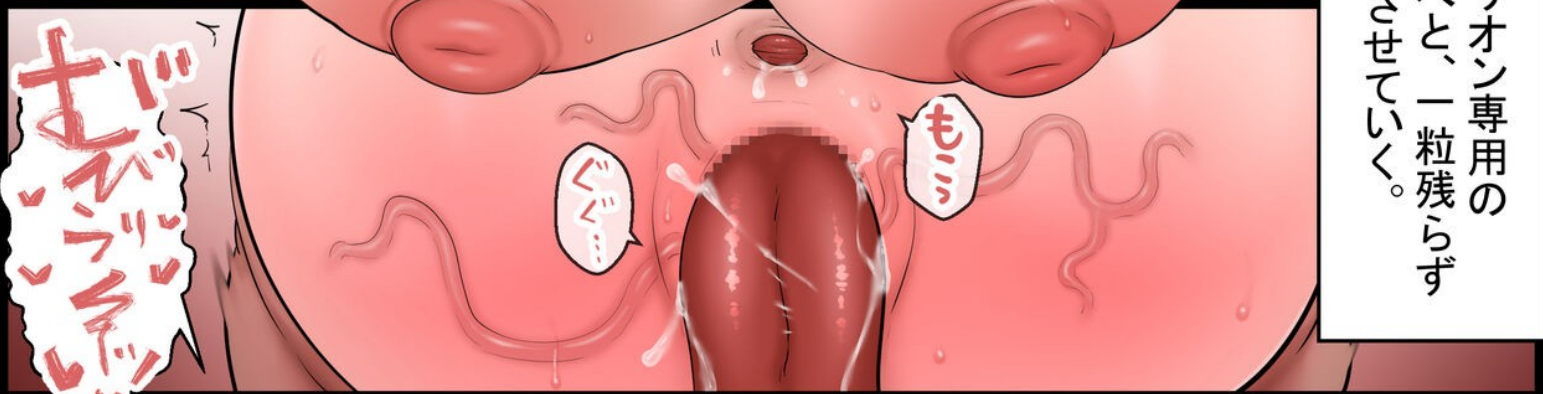
ゴホッゴホッ

ゴホッゴホッ



ゴホッゴホッ

ゴホッゴホッ



卵巣に直接
媚毒を流し込み

マラリオン専用の
卵子へと、一粒残らず
変質させていく。

びしょびしょ
びしょびしょ
びしょびしょ

びしょびしょ

もーっ

びしょびしょ
びしょびしょ

びくんっ

びくんっ

キョロ

ぐはあっ

ゴボォ

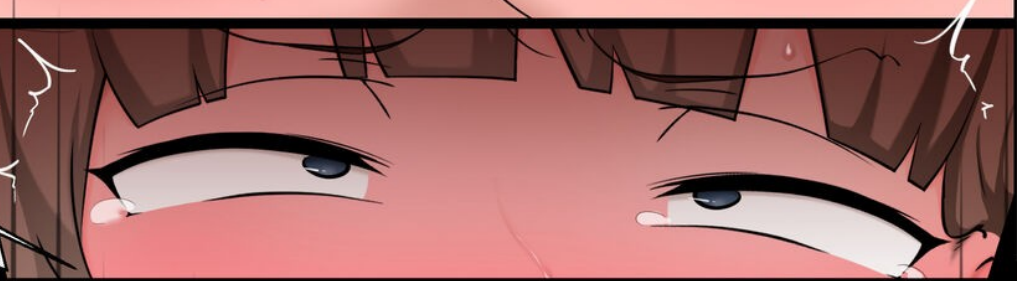
ゴボォ

すっかり肥大化した
化物金玉と化した
乳房は

自分の卵子が全て
マラリオンに屈服した
事を感じ取りぐつぐつと
精液を生成し始める。

卵巣からも大量の
改造卵子が排出され
体内でマラリオン精液と
混ざった結果

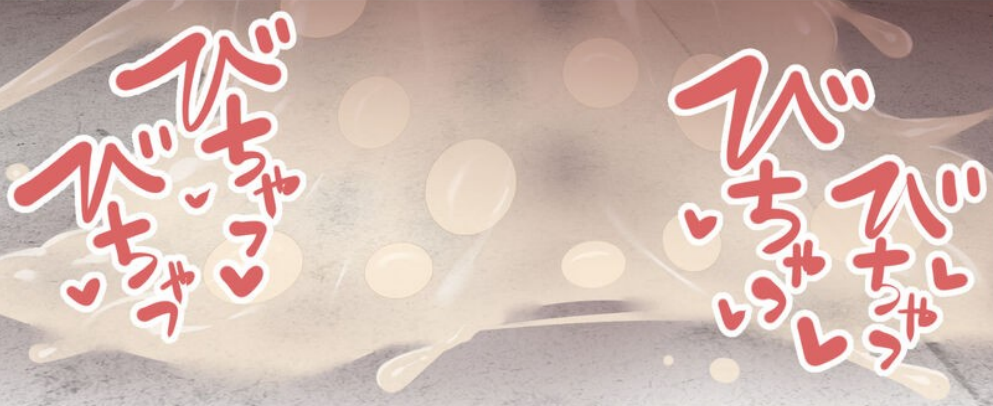
ブツッ





この時の性的快感は
全身から何度も射精
するくらいと
言われている。

臨界を迎え
受精卵が体外に
排出される。
射精である。





体外に排出された
受精卵は、即幼体となり
動き出す。



こうしてメスの卵巣が
空になり、全ての卵子が
尽きるまで、つがいとして
ひたすら出産を繰り返させる。



これらが人類のメスを
自分本位に孕ませる事に
特化した

マラリオンという
生物の生態である。

最近、マラリオンがどういったメスを好むのかが徐々に分かってきた。どうやら、マラリオンは人間社会で優秀とされる形質を持つメスを好む傾向にあるらしい。



メスを捕らえたマラリオンは、射精しながら下水などを使って地下に潜っていく。地下でコロニーを作っているとされているが確認されておらず推測の域を出ていない。食事をとっている様子もまだ発見されていないため食性は不明。

具体的に言うのであれば、現代基準で容姿が優れたものである。驚くことに、孕まされた被害者の全てが容姿の整った女性だった。見目の美しい女性を狙って、まるで男性器の様な姿勢で固定した後、全身で射精させ無様に自らの卵子をひりだし無駄遣いさせられる。

銃弾も弾く、分厚くて柔軟性もあり弾力のある表皮

臀部の肥大化

乳房の肥大化

こんな人間のメスの尊厳を破壊しつくす事に特化した生物が突然産まれてくるだろうか？当然の疑問である。しかし、マラリオンが出現して三年、宇宙人説生物兵器説、何かしらの生物の突然変異説などが議論されてきたが、説明はほとんどされていない。

